

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～23℃台を示し、平年並～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、出漁なし。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり40kgの水揚げで、前週の50%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり148kgの水揚げで前週の14%（前年並み）。スルメイカの漁獲は、ほとんどなし。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり約1.6トンの水揚げ。北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり3.7トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ハガツオなどが1日1統当たり55kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり147kgの水揚げ。
- 一本釣――野母地区では、マアジが1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の55%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/20～11/22日の3日間）沖合イカ釣り船、船凍船は日本海（礼文島・武蔵堆周辺海区・奥尻島）へ出漁した。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～青森沖～北海道西沖（武蔵堆周辺海区）にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）